

赤帽の心

ACTIVE KUMIAI

赤帽は1975年5月に我が国初の軽貨物自動車による軽運送業として東京都練馬区で誕生しました。3年後の1978年8月には、全国47都道府県全てに拠点を置く全国組織の協同組合として運輸省から認可され、今や全国51の協同組合のもと、約15,000台の赤帽車が都会の狭い路



荷主さんの心運ぶ赤帽車

赤帽山梨県軽自動車運送協同組合

地裏から山間部の林道まで、持ち前の小回りの効く機動力を発揮して活躍しております。赤帽の主な業務は、緊急輸送、単身者様のお引越し、貸しきり便、宅配業務等ですが、例えばフリーペーパーの差し替え作業等、輸送+αの付加価値作業のついた業務も得意分野としております。赤帽山梨県軽自動車運送協同組合は、昭和51年9月に、軽車両運送業を営む有志で任意組合を結成しました。

当時、甲府市に事務所を設けわずか車両5台で経営しておりましたが、厳しい経済環境の影響を受け経営が落ち込み、業界発展のために新たな事業活動を模索する中で、個々の能力では自ずと限界があると考え、昭和54年1月に法人格となる協同組合を設立しました。

以来、赤帽山梨県は、組合員の増員や運送シェアを拡大するとともに、小さな赤帽車を持つ大きな信頼―私たち赤帽はお荷物を運ぶだけでなく、荷物を真心というひとつのパッケージで包み込み、目に見えないところから手に触れるところまで、お客様に成り代わり、「荷主さんの心運ぶ赤帽車」をモットーに、組合員、職員が一体となって地元で愛される赤帽車として真心を持ち続け今日に至りました。



赤帽山梨県は、小さな車に大きな夢と希望を載せてこれからも一層、地域の皆様に喜んでいただけるような運送業に一步でも近づく努力を続けていきます。